

**製品名:** LAB (リン酸化 Tyr136) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab05788

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	

## 抗原情報

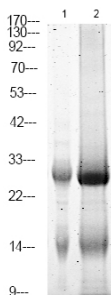
遺伝子名	LAT2
別名	Linker for activation of T-cells family member 2 (Linker for activation of B-cells) (Membrane-associated adapter molecule) (Non-T-cell activation linker) (Williams-Beuren syndrome chromosomal region 15 protein) (Williams-Beuren syndrome chromosomal region 5 protein)
遺伝子 ID	7462.0
SwissProt ID	Q9GZY6
免疫原	ヒト LAB 由来の合成ペプチド (リン酸化 Tyr136)

## 背景

疾患: LAT2の欠陥は、ウィリアムズ・ボイレン症候群 (WBS) [MIM:194050]にみられる特定の心血管系および筋骨格系の異常の原因となる可能性がある。WBSはまれな発達障害であり、染色体バンド7q11.23の遺伝子が関与する連続遺伝子欠失症候群である。機能: 肥満細胞におけるFCER1 (高親和性免疫グロブリンイプシロン受容体) を介したシグナル伝達に関与する。また、B細胞におけるBCR (B細胞抗原受容体) を介したシグナル伝達、および骨髄細胞におけるFCGR1 (高親和性免疫グロブリンガンマFc受容体I) を介したシグナル伝達にも関与している可能性がある。GRB2のリクルートメントを介して、これらの受容体および関連キナーゼの活性化を遠位細胞内イベントと結び付けます。PTM: ポリユビキチン化される可能性があります。PTM: B細胞ではBCR、骨髄細胞ではFCGR1、または肥満細胞ではFCER1の架橋後にチロシンがリン酸化され、GRB2のリクルートメントを誘導します。細胞内局在: 脂質ラフトに存在します。サブユニット: リン酸化されるとGRB2と相互作用します。SOS1、GAB1、CBLとも相互作用する可能性があります。組織特異性: 脾臓、末梢血リンパ球、リンパ節の胚中心で高発現しています。胎盤、肺、膵臓、小腸でも発現しています。B細胞、NK細胞、単球に存在します。T細胞には存在しません (タンパク質レベル)。

## 研究分野

## 画像データ



HepG2細胞 (1) と無血清処理細胞 (2) のウェスタンブロット解析。一次抗体は1:1000希釈。二次抗体は1:10000希釈。